

緑のボランティア通信

2013.10.1

No.28



今年の夏は **セミ博士**



等々力緑地の調査で、11,008 個のぬけがらが見つかりました!



セミは種類によって生息に適している気温や湿度が異なり、ぬけがらの分布を調べることで環境の変化を知る手がかりとなるといわれています。今年度「こども黄緑クラブ」の参加者を中心に、チャレンジボランティアの親子や緑の活動団体のボランティア、小学校の総合学習やこども文化センター等の協力を得て、7月10日から9月20日まで10回にわたり、等々力緑地ふるさとの森で調査を実施しました。

ぬけがら集めをしながら、セミの生態を学習したり、羽化やカマキリの捕食場面に出くわしたり、調査を通して自然環境に関心を持ち、様々な学習に進むことのきっかけ作りになったことでしょう。9月29日には「かわさき宙と緑の科学館」等と連携して報告会を実施し、夏休みの自由研究の取り組みや、川崎区でのクマゼミのぬけがら発見の報告がなされました。次年度以降も継続的に調査に取り組み、経年変化を記録する仕組み作りが期待されます。「セミのぬけがら調査報告書」をご希望の方は、川崎市公園緑地協会までお問合せください。



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

今年の夏はセミ博士	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

実施報告

◆チャレンジボランティア 2013

夏休み期間を活用し、子どもたちにボランティア体験を提供する「チャレンジボランティア2013」が、各区の社会福祉協議会や市民活動センター等と共催で実施されました。川崎市公園協会の企画プログラムは小学生の



親子対象の「セミのぬけがら調査」2コースと中学生・高校生対象の「森の手入れと花がら摘み」4コース。今年度は、はぐくみの里、さいわい加瀬山の会、川崎多摩丘陵の里山を守る会、土橋園芸クラブ、生田根岸古墳の杜保全会、吹込クローバーの会、緑化センターの協力をいただきました。ありがとうございました。



参加者募集!

◆黄緑クラブ 冬編

楽しみながら自然の中で体を動かし、緑が大好きな子どもたちを育てます。対象は、小・中学生とその保護者20組。小学4年生以上は子どもだけの参加も可能です。

- ① 木こりコース：25年12月8日（日）10時～12時
岡上梨ノ木緑地にて
- ② 水 辺コース：26年1月19日（日）10時～12時
宿河原二ヶ領用水にて

申込方法：往復はがきに〒、住所、氏名、学年、電話番号、保護者名、付添いの有無、希望の日程（両方も可）を明記し、実施の各2週間前までに公園緑地協会「子ども黄緑クラブ」係まで送付ください。定員を超えた場合は抽選。満たない場合は前日まで受付けます。



◆2013年度 花と緑の交流会 予告・・・「椎名誠さん」を講師にお迎えします!

市内の公園や緑地で緑に関わる活動をしている団体の交流を図ることを目的に、市民による実行委員会で企画が進められています。今年度講師に「岳物語」等の著書で知られる作家の椎名誠さんが決定しました。入場整理券の申込方法等、詳しくは市政だより12月号やチラシでお知らせします。



日 時：26年1月25日（土）11時半～16時
会 場：高津市民館 大ホール・大会議室
内 容：団体発表、講演会、パネル展示、企画コーナー等



生田根岸古墳の杜保全会 (2009年設立)

活動場所 生田榎戸特別緑地保全地区 (多摩区枳形 2-1468-2ほか)

交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」より 徒歩12分

川崎市多摩区は、比較的緑に恵まれたエリアです。多摩川の右岸に連なる丘陵の、宅地造成を免れた所では数百年の自然が残されています。ここ生田根岸古墳の杜は、6世紀後半以降の地元有力者の墓とされていますが、その詳細はまだ明らかではありません。竹林を主体とした1.2haの私有地が相続発生により市に移管され、特別緑地保全地区に指定されました。早速、保全計画を話し合い、この緑地を市民の寛ぎの場となるように近隣町会を主体に保全活動に取り組み3年半が経過しています。しばらく放置されていたため密生した竹林でしたが、



が、月1回の定例活動日に間伐

を繰り返し、それを材料に遊歩道に竹の粗朶垣を作製しています。間伐の一環として取り組んでいる「春の竹林整備」は好評で、地域の方々だけでなく遠く川崎区からの応援グループも迎え入れています。竹は空洞の構造であるため成長が早く、伐採した後の廃棄ボリュームも大きくなり処理に困っています。今後、間伐した緑地内資源としての竹材や竹チップが市内全域で活用出来るシステムを推進して頂きたいです。

(金子 守正)



子育て支援センターすがお ひまわりの会 (2002年頃設立)

活動場所 子育て支援センターすがお (宮前区菅生 5-4-10)

交通案内 JR南武線「武蔵溝ノ口駅」より市営バス鷲ヶ峰行「蔵敷」下車徒歩1分

市立幼稚園から開かれた子育て支援の場所になったところ、地域の老人が鬱蒼とした樹木を気にして手入れを申し出たのと、施設側も幼児の親子だけでなく地域の方々に関わってもらえる施設を目指していたことが相まって、ひまわりの会が誕生しました。その後、利用者の保護者も次々にメンバーに加わり、園庭の草刈りや樹木の剪定、花壇や畑づくりに取り組んでいます。バス通りに面したネズミモチを低く剪定し、多くの通行人から「園庭が見渡せるようになり、こどもたちの歓声や季節を彩る花壇の花々が心地よい」等の声が寄せられています。畑では、オクラ、サトイモ、大根、インゲン、ジャガイモ、西瓜等様々な栽培に挑戦し、野菜の花を楽しんだり、保育園の子どもたちに収穫の体験を提供したりしています。毎日開所する施設ですので職員とも連携し、



一斉活動日以外にも、天候や植物の育ち具合に応じて三々五々作業が出来ることも良い点です。こどもが幼稚園、学校に進み、センター

を利用しなくなっても、お世話になった恩返しのつもりで時間のあいた時には手入れに参加しています。

(石井 美栄子)



シリーズ!! ツリー・ウォッチング *あなたもツリー・ウォッチングに出かけてみませんか? 川崎市内の銘木・珍木・不思議な樹々たちの世界を紹介します。

ロスト・ツリー・ウォッチングで、歴史再発見!!

新シリーズ!今はもうなくなってしまいましたが、かつて市内にはこんなすばらしい銘木があったのです!
今回は、そんな「ロスト・ツリー(失われた樹木)」の中から、『(旧)稲毛領の七本松』の内の三本をご紹介します。

No. 24 百合ヶ丘の“弘法の松”

小田急線百合ヶ丘駅から南の丘の上にある『弘法松公園』の“弘法の松”の跡地です。かの弘法大師(空海)が、この地に寺を建てようと調べたところ、谷が百に一つ足りず断念し、その代わりに松を植え、それが大樹となったそうです。ここは見晴らしも良く、古くから街道を行きかう人々の目印になっていたようですね。現在、クロマツの苗木が育っています。



弘法松公園

住所 麻生区百合丘 2-10

交通案内 小田急線「百合ヶ丘駅」または「新百合ヶ丘駅」より徒歩10分

No. 25 上作延の“しばられの松”



上作延のバス停『しばられの松』のすぐ前。江戸の頃には、病気(百日咳)平癒の願掛けの為、たくさんの素縄で縛られていたそうです。現在ここは『聖(ひじり)社』という神社の境内で、鳥居の反対側には縄でしばられていないクロマツが大きく育っています。近くに神木(しばく)の地名がありますが、この地名はしばられ松のことではなく別の由来だそうです。

しばられ松

住所 高津区向ヶ丘139付近

交通案内 東急田園都市線「宮崎台駅」より徒歩12分

No. 26 久地の“綱下げの松”

川崎市宮緑ヶ丘霊園の久地側にある『松寿弁財天』。河岸丘の上にあります。その昔、多摩川が大増水したとき流された村人に、ここの松の大樹から白蛇の化身の“綱(つな)”が下がってきて、それに掴まって助かったと伝えられています。現在は、鳥居の前にアカマツの若木が育っています。



松寿弁財天

住所 高津区久地 4-18付近

交通案内 JR南武線「久地駅」より徒歩4分

このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。

このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。執筆いただいている木珠(こだま)氏のホームページは《<http://hitotokinoharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410